

2025 年
11

久野営農経済センターだより



＜注意＞「収穫〇日前」：定められた使用時期。記載されている収穫前日数まで散布が可能。（前日は24時間前）
「回数」：農薬成分の総使用回数のこと。栽培期間中、何回散布可能か確認する。

▲店舗により農薬在庫状況が異なるので、農薬購入の際は事前に在庫確認をすると円滑に購入ができます▲
——【温州みかん】＊下線が引いてあるものは重要防除なので、必ず防除を行う。——

仕上げ摘果

加工ミカン無くすために、樹上選果を継続してください。

施 肥 11 月上旬

○秋肥 特選みかん配合 655 120kg/10a

施肥後、軽く中耕する。ただし、着色が著しく遅れている樹木は、窒素が着色不良の原因となるので、施肥量を減らす、施肥時期を遅らせるなどの工夫で着色促進に影響が無いようにする。

病害虫防除 10月下旬～11月上旬 ※ 収穫時期を迎えている品種については散布日数(収穫前日数)にご注意ください。

○ミカンハダニ オマイト水和剤 750 倍 収穫7日前 2回 133g / 水 100 ㍓

＊秋のミカンハダニは果実の着色不良の原因なので、むらなく防除する。防除を徹底し、ハダニを貯蔵庫内に持ち込まないようにする。

11 月中旬 貯蔵病害に注意する。

○青かび病
○緑かび病
○軸腐病

ベルコートフロアブル 2,000 倍 収穫前日 3回 50ml / 水 100 ㍓

トップジンM水和剤 2,000 倍 収穫前日 5回 50g / 水 100 ㍓ 同時散布

※昨年まで使用されてきたベフトップジンフロアブル（ベフラン＋トップジン M）は、2025 年 10 月に農薬登録が失効し、11 月以降は在庫のベフトップジンフロアブルも有効期限切れのため使用できません。

※降雨が多い場合は、再度散布をする。

温州みかんと中晩柑では農薬の使用 방법에違いがあるので、ラベルをよく確認する。

その他

カメムシの被害が多いと果実落果も予想されますのでご注意ください。

自園地にて発生が見られたら重点的に防除をお願い致します。

カメムシ スタークル顆粒水溶剤 2,000 倍 収穫前日 3回以内 50g/水 100 ㍓ 又は

ロディー乳剤（劇） 2,000 倍 収穫7日前まで 4回以内 50ml/水 100 ㍓

収 穫

大津四号は完全着色、青島温州は8分着色以上の果実から 2～3 回に分けて区分収穫する。

また、病害虫果や傷果の園内廃棄は鳥獣被害を助長するので、園外廃棄に努める。

——【キウイフルーツ】——

病害虫防除 11 月下旬～12 月中旬 （収穫後直ちに）

○かいよう病 I Cボルドー66D 50 倍 2kg / 水 100 ㍓

土壌改良 11 月～2 月(収穫後)

○苦土石灰 100kg～200kg/10a を施用 （土壌の pH を調整するため）

収 穫

11 月上旬中旬以降の強い霜が降りる前に収穫・選果を行い、収穫は果実温の高い時は避ける。

収穫時は傷や打撲が生じないように丁寧に扱い、収穫した果実は、直射日光に当てないようにする。

コンテナ等に少しでも軟化している果実が混入すると、軟化果の発生につながる所以混入しない。

果実温を上げないよう選別後は速やかに低温庫に搬入する。

—【う め】—

冬季剪定 11月～12月中

縮間伐を実施する。剪定は骨格枝作りを重視し、主枝の配置や内向枝・平行枝等の切除を行う。
また、蕾を傷めないために年内にノコギリ剪定（太枝の処理）を終了させる。

灰星病対策 灰星病の罹病枝がある場合は冬季剪定時に必ず剪除し、園外廃棄する。

＊灰星病の罹病枝がわからない方は、最寄りの営農経済センターにご確認ください。

施 肥

○梅配合 120kg/10a 10月に施肥していない園は直ちに行う。

病害虫防除 11月上旬 カイガラムシ類多発園では、この時期の防除を実施してください。（重要）

○カイガラムシ類 アタックオイル 50倍 2,000ml / 水 100ℓ

11月中旬以降に時期が遅れると発芽不良や花芽を傷めやすいので絶対に散布をしない。

カイガラムシ類は梅の場合、防除適期が収穫時期と重なり防除が難しい害虫です。

—【水 稲】—

スクミリンゴガイ対策

管内でのスクミリンゴガイ（別名：ジャンボタニシ）の発生地域が徐々に拡大しており、発生拡大を阻止するためにも、水田では耕耘（速度は遅く、ロータリー回転は速く）を行い、貝を傷つけ越冬させないようにする。また、水路や排水溝なども越冬場所となるので、防除、清掃を必ず行う。

冬季にできる水田の除草管理 雑草防除

一般には田植えから 7 月末頃に除草剤を使って除草を行います。多年生雑草の塊茎や根茎は種子より低温や乾燥に弱いことから、冬季の耕耘によって除草効果が期待される。また、収穫 2～3 週間後の除草剤の散布は効果的です。

水田刈跡 雑草生育期薬剤 ラウンドアップマックスロード

○一年生雑草:200～500ml/水 50～100ℓ 1 回 ○多年生雑草:500～1,000 ml/水 50～100ℓ 1 回

農薬を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。

水稻土壌診断の取りまとめについて

1. 取りまとめ作物：水田（はるみ米研究会員以外）
2. 取りまとめ期日：令和 7 年 11 月 20 日（木）
3. 水稻土壌診断無償対象者：①正組合員及びその家族
②収穫した米穀を販売している水田に限る（販売先は JA 以外でも可）
※自家消費の水田は対象外となります。
4. 無償点数：水稻 5 点までの分析
※6 点目以降の診断依頼及び水稻以外の作物は有料になります。
※詳細は営農経済センターにお問合せください。
※はるみ米研究会員向けの土壌診断は別途ご案内している様式にてお申込み下さい。

令和 7 年産米の追加集荷の実施について

集荷日：令和 7 年 12 月 4 日（木）

集荷場所および搬入時間：JA かながわ西湘 福沢総合選果場 午前 8 時 45 分～11 時

JA かながわ西湘 成田総合選果場 午後 1 時 30 分～3 時

集荷対象品種：学校給食対象品種（キヌヒカリ・はるみ・さとじまん・てんこもり・コシヒカリ）

出荷をご希望の方は令和 7 年 11 月 25 日（火）までに最寄りの支店までご連絡ください。なお、契約の関係で 7 年産米の集荷は今回が最終となります。